

生物産業学特別総合実験（4単位）

担当者氏名 小栗 秀、吉田 穂積、亀山 祐一、寺澤 和彦、相馬 幸作、中村 隆俊、平山 博樹、渡邊 研一、白井 滋、塩本 明弘、小林 万里、千葉 晋、瀬川 進、松原 創、丹羽 光一、佐藤 広顕、中川 純一、藤森 嶺、渡部 俊弘、戸枝 一喜、久保田紀久枝、相根 義昌、遠藤 明仁、長澤 真史、菊地 哲夫、黒滝 秀久、美土路 知之

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

生物産業学に関する実学の精神と文理融合の教育体系に基づき、北方圏の地域性を活用した農林水産に関わる生物資源、バイオテクノロジー、経営経済分野の領域で活躍できる能力を修得させることを教育・研究上の目的とする。原則として3年以上在学し、専修分野の1つを選択し、博士論文の研究指導を受ける。

◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

生物資源	バイオテクノロジー	食品加工	経営・経済
文理融合	領域横断性	自然科学	社会科学

◆授業の進行等について

	テ ー マ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1-5 回	各自の研究テーマに則した研究計画を学ぶ	研究の背景や目的から、適切な研究手法を見出し、一定期間内に成果が出るよう計画することを学ぶ。	先人による関連論文を熟読し、必要なら予備調査も行う。
6-20 回	各自の研究テーマに則したデータ取得法を学ぶ	各自の研究テーマに則した研究方法に関して、トラブルシューティングも出来るよう実践的トレーニングを積む。	データを得るための方法論を身につけ、それを実践できるようにする。
21-40 回	データを取得する	各自のテーマに設定された調査や実験データを取得する。	データ取得に必要な技術を予習しておく。
41-50 回	データをまとめる	実験または調査データを目的に沿った形で理解しやすく纏める。	各自と近い分野の論文などのデータのまとめ方を調べておく。
51-60 回	各自の研究テーマに則したデータ解釈法を学ぶ	各自が得たデータに適切な解釈や考察を加えるため、統計解析等を行う。また、研究の再現性や追試の必要性について議論する。	データ解釈を正しく行い、それを文章やスライドで表現できるようにする。
46-60 回	調査または実験結果のまとめ	統計処理などを行って、結果を整理して、外部機関や学会等で発表できる形の報告書を作成する。	データ表記の最適な方法について考えておく。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

各自のテーマ関連学術論文を指導教員と相談の上で読んでおく。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

とくになし

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

レポートや論文などの提出物による評価。

◆オフィスアワー

各教員に確認して下さい。

◆その他受講上の注意事項

各自の指導教員とよく連絡をとるように。